

平成 24 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社エイチーム
代 表 者 名 代表取締役社長 林 高生
(コード番号：3662)
問 合 せ 先 管理部担当取締役 牧野 隆広
(TEL. 052-527-3070)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年 4 月 4 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【単 体】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 24 年 7 月期 (予想)		平成 24 年 7 月期 第 2 四半期累計期間 (実績)		平成 23 年 7 月期 (実績)	
		構成比	前年比	構成比	構成比		
売 上 高		5,320	100.0	2,331	100.0	4,064	100.0
営 業 利 益		697	13.1	360	15.4	448	11.0
経 常 利 益		696	13.1	354	15.2	446	11.0
当期(四半期)純利益		389	7.3	193	8.3	258	6.4
1 株 当 たり 当期(四半期)純利益		138 円 90 銭		71 円 82 銭		9,652 円 62 銭 (96 円 53 銭)	
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭		0 円 00 銭		0 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表は作成しておりません。
2. 平成 23 年 7 月期(実績)、平成 24 年 7 月期第 2 四半期累計期間(実績)及び平成 24 年 7 月期(予想)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均株式数により算出しております。
3. 平成 24 年 7 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数(300,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出に関連する第三者割当増資分(最大 45,700 株)は含まれておりません。
4. 当社は平成 23 年 10 月 27 日付で株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の 1 株当たり指標の推移は()内に記載しております。

平成 24 年 7 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 24 年 4 月 4 日

上場会社名 株式会社エイチーム 上場取引所 東
 コード番号 3662 URL <http://www.a-tm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 高生
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当取締役 (氏名) 牧野隆広 TEL (052) 527 - 3070
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 7 月期第 2 四半期の業績 (平成 23 年 8 月 1 日 ~ 平成 24 年 1 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 7 月期第 2 四半期	2,331	—	360	—	354	—	193	—
23 年 7 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24 年 7 月期第 2 四半期	71	82	—	—
23 年 7 月期第 2 四半期	—	—	—	—

(注) 1. 当社は、平成 23 年 7 月期第 2 四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成 23 年 7 月期第 2 四半期及び平成 24 年 7 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成 24 年 7 月期第 2 四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 7 月期第 2 四半期	1,703	1,257	73.8
23 年 7 月期	1,801	1,038	57.6

(参考) 自己資本 24 年 7 月期第 2 四半期 1,257 百万円 23 年 7 月期 1,038 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 7 月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
24 年 7 月期	— —	0 00	— —	— —	— —
24 年 7 月期 (予想)	— —	— —	— —	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 無

3. 平成 24 年 7 月期の業績予想 (平成 23 年 8 月 1 日 ~ 平成 24 年 7 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	5,320	30.9	697	55.5	696	56.1	389	50.7	138	90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数 （自己株式を含む）	24年7月期第2四半期	2,715,000株	23年7月期	26,750株
② 期末自己株式数	24年7月期第2四半期	－株	23年7月期	－株
③ 期中平均株式数 （四半期累計期間）	24年7月期第2四半期	2,691,957株	23年7月期第2四半期	－株

当社は、平成23年10月27日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っております。期中平均株式数は当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・平成23年10月27日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、東日本大震災後の電力不足によるさまざまな活動の自粛をはじめ、欧州の財政問題や米国景気の先行き懸念による円高などの影響で、依然として厳しい状況が続いております。

国内のインターネットを取り巻く環境につきましては、スマートフォンの急速な普及、Facebook、Twitter利用者の急激な拡大など、日常生活におけるインターネットの利用機会が一層増加しております。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、従来型携帯電話の市場シェアが徐々に低下する一方で、SNSによるソーシャルアプリ市場は引き続き拡大し、スマートフォン向けゲームタイトルが急増するなど、市場の競争はさらに激化しております。

このような状況の下、当社は既存サービスのさらなる充実と、新規サービスの投入に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は 2,331,024 千円、営業利益は 360,077 千円、経常利益は 354,797 千円、四半期純利益は 193,325 千円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業では、従来型携帯電話向け公式サイトに加え、ソーシャルアプリ及びスマートフォンアプリの企画・開発及び運営を主に行っております。

ソーシャルアプリ及びスマートフォンアプリにつきましては、平成23年10月に正式リリースしたグリー株式会社との協業によるタイトル「AKB48 ステージファイター」が順調に利用者を獲得し、iOS及びAndroid向け「麻雀 雷神・Rising」が200万ダウンロードを超える規模となるなど、売上は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は 1,194,784 千円、セグメント利益は 448,187 千円となりました。

<ライフサポート事業>

ライフサポート事業では、引越し価格の比較サイト「引越し価格ガイド」及び「引越し侍」、中古車買取価格の一括査定サイト「かんたん車査定ガイド」、結婚式場の情報サイト「すぐ婚!navi」、女性の体調管理サイト「ラルーン」の各サイトがそれぞれ利用者を伸ばし、売上は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は 1,136,240 千円、セグメント利益は 168,539 千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態

(資産)

当第2四半期累計期間末における総資産は 1,703,543 千円となり、前事業年度末に比べ 98,280 千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少 231,063 千円、受取手形及び売掛金の増加 118,488 千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期累計期間末における負債は 446,496 千円となり、前事業年度末に比べ 316,806 千円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少 15,020 千円、1年内返済予定の長期借入金の減少 149,936 千円、長期借入金の減少 105,512 千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産は 1,257,046 千円となり、前事業年度末に比べ 218,525 千円増加いたしました。これは、増資による資本金の増加 12,600 千円及び資本準備金の増加 12,600 千円、四半期純利益の計上による繰越利益剰余金の増加 193,325 千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ231,063千円減少し、当第2四半期累計期間末には321,975千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は110,828千円となりました。これは主に、法人税等の支払額149,251千円及び売上債権の増加額118,488千円があったものの、税引前四半期純利益342,405千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は96,624千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出78,834千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は245,268千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出255,448千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

エンターテインメント事業においては、これまでの従来型携帯電話向け公式サイトビジネスから、ソーシャルアプリ及びスマートフォンアプリ中心の収益モデルへの転換が急速に進んでおります。

ゲーム開発については、5つの開発グループが並行して複数のタイトルを手掛ける組織体制となっており、公式サイト的主力タイトル「エターナルゾーン」、「ミリオンヴァーサス」などをソーシャルアプリ・スマートフォンアプリに展開するとともに、SNS・スマートフォンの特性を活かした新規アプリの開発に注力しております。第12期第4四半期からはグリー株式会社との協業によるソーシャルアプリ「AKB48 ステージファイター」の開発にも力を入れた結果、平成23年10月にリリースすることができました。また、海外市場向けゲーム展開をサポートするローカライズグループを編成し、海外市場向けのタイトルにも力を入れております。

今後のエンターテインメント事業では、「内製開発」、「海外市場も視野に入れたスマートフォン・タブレット端末向けサービス」を軸に、グリー株式会社との協業案件にも取り組みながら、収益の拡大を図ってまいります。

ライフサポート事業においては、エイチームブランド、及び各サービス名称の浸透に注力しており、引越し価格の一括見積りサイト「引越し価格ガイド」及び「引越し侍」、中古車買取価格の一括査定サイト「かんたん車査定ガイド」に加えて、結婚式場の検索・予約・情報サイト「すぐ婚!navi」、女性向け体調管理・悩み相談サイト「ラルーン」の利用者が伸びております。また、「すぐ婚!navi」ではウェディングデスクの開設によりサービス名称の浸透とともに顧客満足度が向上しており、ネットとリアルを連動させたサービスの成功事例となっております。

今後のライフサポート事業では、これら4つのサービスをトップブランドに育てることに注力するとともに、5つめ、6つめ、トップブランドを狙えるサービスを模索し、4つのサービスの拡大と同時に収益の多様化を図ってまいります。

当期の見通しについては、売上高5,320,778千円(前年同期比30.9%増)、営業利益697,878千円(同55.5%増)、経常利益696,442千円(同56.1%増)、当期純利益は389,050千円(同50.7%増)を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	553,038	321,975
受取手形及び売掛金	655,610	774,098
たな卸資産	8,510	8,274
その他	133,069	147,103
貸倒引当金	△ 9,330	△ 19,521
流動資産合計	1,340,897	1,231,930
固定資産		
有形固定資産	40,267	38,789
無形固定資産	159,559	195,695
投資その他の資産		
敷金及び保証金	133,544	144,175
その他	130,359	95,506
貸倒引当金	△ 2,804	△ 2,554
投資その他の資産合計	261,099	237,127
固定資産合計	460,926	471,612
資産合計	1,801,824	1,703,543

(単位：千円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,988	36,199
短期借入金	15,020	—
1年以内返済予定長期借入金	149,936	—
未払金	220,784	223,026
未払法人税等	148,280	127,299
その他	75,781	59,971
流動負債合計	657,791	446,496
固定負債		
長期借入金	105,512	—
固定負債合計	105,512	—
負債合計	763,303	446,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,450	68,050
資本剰余金	29,250	41,850
利益剰余金	953,820	1,147,146
株主資本合計	1,038,520	1,257,046
純資産合計	1,038,520	1,257,046
負債純資産合計	1,801,824	1,703,543

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	2,331,024
売上原価	401,668
売上総利益	1,929,355
販売費及び一般管理費	1,569,278
営業利益	360,077
営業外収益	
受取利息	65
業務受託料	800
その他	158
営業外収益合計	1,023
営業外費用	
支払利息	1,583
固定資産除却損	3,416
その他	1,302
営業外費用合計	6,302
経常利益	354,797
特別損失	
固定資産売却損	12,392
特別損失合計	12,392
税引前四半期純利益	342,405
法人税等	149,080
四半期純利益	193,325

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	342,405
減価償却費	41,471
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,941
受取利息及び受取配当金	△ 65
支払利息	1,583
固定資産除却損	3,416
固定資産売却損益 (△は益)	12,392
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 118,488
たな卸資産の増減額 (△は増加)	234
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 11,788
その他	△ 19,699
小計	261,403
利息及び配当金の受取額	65
利息の支払額	△ 1,387
法人税等の支払額	△ 149,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 5,394
無形固定資産の取得による支出	△ 78,834
その他	△ 12,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 96,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 15,020
長期借入金の返済による支出	△ 255,448
株式の発行による収入	25,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 245,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 231,063
現金及び現金同等物の期首残高	553,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	321,975

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間（自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフサポ ート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,194,784	1,136,240	2,331,024	—	2,331,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,194,784	1,136,240	2,331,024	—	2,331,024
セグメント利益	448,187	168,539	616,726	△ 256,648	360,077

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 256,648千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。